基礎編　５　手紙の書き方

　実用的な文章は、メール、契約書、行政文書など、公私を問わず多様であり、実社会で使われている文章すべてが実用文であるといえる。手紙もまた、時代により変化はあったが、決まった形式が存在している。実用文の基本である現代の手紙の形式を理解しよう。また、例えば明治の文豪の手紙がどのようなものだったのか、その一端に触れてみよう。

現代の手紙の書き方

　現代において日常的に利用されるメールについても、その書式の元は、手紙です。手紙には以下の形式があります。

❶前文＝頭語・時候の挨拶・相手の安否・自分の安否

❷本文

❸末文＝結びの挨拶・結語

❹後付け＝日付・差出人・受取人

　さらに、頭語、結語、差出人、受取人は、手紙の上部、下部といった書く位置まで決まっています。まずこの形式を理解しましょう。

頭語と結語の組み合わせ

　　　　　　　　　〈頭語〉　　　〈結語〉

一般的な場合　　　拝啓・啓上 ― 敬具・敬白

改まった場合　　　謹啓・謹呈 ― 謹言・謹白

前文を省く場合　　前略・冠省 ― 早々・不一（不乙）

返信の場合　　　　拝復　　　 ― 敬具・敬白

時候の挨拶の例

一月　　新春の候／厳寒の候

二月　　立春の候／余寒なお厳しき折

三月　　早春の候／日一日と春めいて参りました

四月　　春暖の候／桜花におう候

五月　　晩春の候／新緑の候

六月　　初夏の候／時候不順の折

七月　 盛夏の候／暑気厳しき折

八月　 残暑の候／暦の上では秋ですが

九月　 新涼の候／初秋の候

十月　 仲秋の候／紅葉の候

十一月 晩秋の候／夜寒の候

十二月 寒冷の候／師走の候

【資料】

　次は、明治三十八年一月四日付、夏目漱石の宛の図入りの手紙である。

　野間からの手紙が形式に沿っていなかったため、書くときの注意点を述べている。野間は漱石の講義を聞いた一人で、東大英文科を二年前に卒業している。なお、漱石の本名はで、号（芸術家などが本名のほかに用いる名）が漱石である。

（略）人のところへ手紙をよこすに名宛人の名前だけをかいて自分は姓だけかくなんてぇのは失敬だよ。自分の事は大抵の場合には（真綱）とばかりかいて姓もかかないのが礼儀である。先方を尊敬し様とする場合には向こうの姓だけかいて名を略すあるいはその人の号をかく。自分の号を書くのはやはり失礼になる。

　　第一号

尊敬の場合

　　第二号

　一月四日

真綱

夏目様

　一月四日

野間真綱

夏目金之助様

同等の場合

　　第三号

　一月四日

真綱

金之助様

これが昔の礼儀であります

　　一月四日

金之助

　真綱様

ごく懇意の場合

又は目下へやる場合の場合

問１　高校生の木村はるかさんは、手紙の書き方について学んだ。妹のまどかさんは、職場体験でお世話になった岸信子さんにあててお礼状を書き、意見を求めている。会話文中の［　Ｚ　］に当てはまる内容を30字以内で、後の⑴⑵を満たすように書け。

まどかさんの手紙

拝啓

新緑の候、岸様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、先日の職場体験では、お忙しい中、（中略）学んだことを学校生活や将来に生かして参ります。本当にありがとうございました。

まずは御礼申し上げます。

敬具

　　××年五月十二日

Ｘ岸様へ

　Ｙまどか

後付け例

まどか　私の手紙で直すところはある？

　　××年○月△日

差出人氏名

　受取人氏名＋様

はるか　後付けは、相手が目上なのだから、自分の氏名を下部に書き、相手の氏名を末尾上に書くのが一般的だよ。だから、［　　　Ｚ　　　］

⑴ ＸとＹという記号を用いること。⑵ 解答の文体は会話体にしないこと。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

問２　前記の手紙の宛名（真綱様）と署名（金之助）は、漱石が図示している書き方の第一号から第三号のうち、第何号によって書いたのか答えよ。

［　　　　］

問３　野間真綱は、どのような宛名と署名を書いたのだろうか。漱石の手紙の内容から推測して答えよ。

▽宛名＝［　　　　様］　　▽署名＝［　　　　］

問４　前記の手紙によると、（本名：森）を尊敬する相手として手紙を書く場合、宛名は二通りの書き方が可能である。二つとも答えよ。

［　　　　様］　　［　　　　様］

問５　あなたが漱石の弟子だと仮定して、漱石に対し手紙を書く場合、宛名と署名はどのような点に注意して書くべきか。その理由を明らかにして、40字以内で説明せよ。

［

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

POINT 大学入学試験における記述式問題対策では、自己採点が重要となる。この問５を使って、次の基礎編６で自己採点の練習をしよう。

《解答・採点基準》

問１　ＡＸを「木村まどか」、ＢＹを「岸信子様」とＣ書き直せばよい。（27字）

10点満点

別解　ＡＸを木村まどかと直し、ＢＹを岸信子＋様とＣ書けばよい。（25字）

基準　Ａ＝４点／Ｂ＝４点／Ｃ＝２点

問２　第三号

問３　▽宛名＝金之助（様）　▽署名＝野間

問４　森（様）・鷗外（様）

問５　漱石は目上であるので、その姓や号に様をつけ、自分の名は姓を省き署名すること。（38字）　→問５の採点は、次の基礎編６で取り組みます。